

内政・国際 2003年(平成15年)2月18日(火曜日)

## 最もシンプルで力強い、21世紀のアート



笑顔のイベント「メリーアイン・  
ニューヨーク」を開いている

みずたに  
水谷 孝次さん

ひと

見ているこちらもほおが緩むような  
笑顔が約四百。9・11テロから一年た  
つたニューヨークで「あなたにとって  
メリーアイン・ニューヨーク」とは何ですか  
?」と問い合わせながら写真を撮った。  
メッセージとともに展示する「メリーア  
イン・ニューヨーク」を東京・六本  
木の「THINK ZONE」で開いてい  
る。

「不幸が大きい分だけ、笑顔が美し  
い。ともに負の遺産を持つ、神戸でや  
つたときにもそう感じました。撮って  
いる僕にも、見る側にも、勇気や希望  
をくれる」「メリーアイン・クリスマス」のメリーアイン。

しき、幸せ、希望といったポジティブ  
な感情をその言葉に託した「メリーア  
イン・プロジェクト」は、一九九九年に始ま  
った。笑顔とメッセージをさまざまな方  
法で見せる。今回は五万部の『新聞』  
にしてニューヨーク、ロンドンでも同  
時に配った。  
本業はアートディレクター。広告業  
界に札束が乱れ飛んだバブル時代を経  
験した。忙しく働き、数々の賞を受け  
ながらも、むなしさが募った。  
「すべては商品を売るためのウソ。  
こんな」とはおかしいとずっと思って  
ました」

その後、米国を旅するバスの中で、  
無邪気な少女たちにカメラを向けた  
のがプロジェクトのきっかけになっ  
た。

「笑顔は世界共通のコミュニケーション手段。これこそ最もシンプルで力  
強い、二十一世紀のアートじゃないか  
と思うんです」

不況だからこそ「やるべき」とがは  
つきり見える」と笑う。五十一歳。名  
古屋市生まれ。